

工大 広報

Tohoku Institute of Technology Magazine

No. **322**

2026.7 SUMMER

東北工大の「いま」と「ミライ」が分かるマガジン

未来の
エスキースを
描く。

特集

LABORATORY REPORT 研究室通信

水素社会の実現へ

水電解用電極材料の技術革新を進める

工学部 環境応用化学課程

加藤 善大 教授

心を揺さぶるメッセージを伝える

写真や映像の可能性を探究

ライフデザイン学部 経営デザイン学科

猿渡 学 教授

CONTENTS

P02 LABORATORY REPORT

P06 Lab Talk!

P08 【TOPICS】 地域連携センター

P09 【TOPICS】 研究支援センター

P10 【TOPICS】 CAREER SUPPORT NEWS

P11 【TOPICS】 キャンパス通信



特集

最前線の研究をレポート!

LABORATORY REPORT

研究室通信 Vol.43

工学部 環境応用化学課程

かとう ぜん た
加藤 善大教授 *Kato Zen-ta*

PROFILE

北海道大学工学部金属工学科を卒業後、塗装亜鉛めっき銅板メーカーに就職。その後、同大学博士課程に進学。2004年3月に博士(工学)の学位を取得。同年4月に本学の客員研究員として着任。2006年4月から工学部環境情報工学科で講師、准教授。2021年4月から環境応用化学科(現 環境応用化学課程)の教授。

担当科目

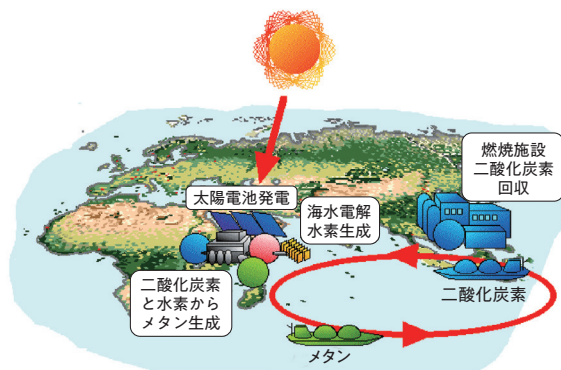
電気化学、物理化学I、無機化学、有機・無機材料、応用化学実験、卒業研修、環境材料化学特論(大学院)



【研究テーマ】

水素社会の実現へ 水電解用電極材料の技術革新を 進める

化石燃料の枯渇やエネルギーの課題の解決のため「グローバル二酸化炭素リサイクル」の実現のために、電極および触媒材料の創製に関する研究に注力している加藤先生。特に、グリーン水素の大量製造のため海水による直接電解を想定し、その海水電解の技術開発を進めています。本学で長く活躍されていた橋本功二名誉教授の研究に賛同した研究者および企業の開発者とともに酸素発生電極触媒の高性能化に向けた研究開発に情熱を傾けています。



「グローバル二酸化炭素リサイクル」の概略図

研究者として、二人からの教え

—— 本学に来るきっかけになったのは。

東北大学金属材料研究所と本学で長く教育研究に勤しまれていた腐食・防食材料、アモルファス合金、電極触媒、電気化学材料などの研究の第一人者、橋本功二先生の下へポスドクとして行くことを北大の恩師、高橋英明先生から勧められました。A4用紙2枚に書かれた橋本先生の日本のエネルギー政策に関する熱いメッセージを受け取り、2004年4月から本学での大機エンジニアリングからの招聘研究員として2年働き、2006年4月、本学の講師に採用され、教員としての道を歩むことになりました。

—— 恩師 高橋先生との出会いとは。

大学卒業後は一般企業に就職しました。「先が見えた」という若者が陥りやすい感情が芽生え、10カ月足らずで退職となりました。試行錯誤の毎日を送り、大学の恩師に大学院への進学を申し出て研究生として半年、博士課程の5年間、研究させていただきました。学部時代、これと言って打ち込むこともなく、唯一頑張ったことは卒論研究でした。データの取り方からまとめ方、要旨などの文章の書き方から発表の仕方まで丁寧に指導していただきました。大学院時代は、未知のものに向かいそれが実験で見えて

きた時の感動、日本のみならず海外での学会発表も当日まで実験に追われますが、楽しく貴重な毎日を過ごせました。高橋先生に言われて深く印象に残っているのが、「組織に10人の人がいれば1人が優秀、8人は普通、1人は普段ダメだとみなされている人。ひとたび危機が迫れば、皆を救えるのはダメだとみなされている人だ」という視点です。そのように高橋先生が考える人でなければ、研究を続けることはできなかったのかもしれませんが。研究者としての素養を身に付けているから研究者になれたのではなく、2人の恩師との出会いを経たからこそ、大学院時代で取り組んだことをそのまま加藤研の学生と続けられるのだと思います。



—— 橋本先生のエネルギーに対する考え方とは。

再生可能エネルギーで全世界の持続的発展を目指す「グローバル二酸化炭素リサイクル」を提唱し、研究に取り組んでいた橋本先生との出会いが、本学における私の出発点になりました。1990年代、化石燃料が枯渇する未来を予測し、再生可能エネルギーのシステムを社会に取り入れていこうという動きが盛んでした。その第一線で研究に取り組んでいたのが橋本先生で、太陽光の利用から始まり、そのエネルギーを使って海水を電気分解して水素を作り、その水素を火力発電所などのエネルギー消費地で回収した二酸化炭素と触媒上で反応させてメタンを作り、それを燃焼させて発電してエネルギーを作り出すシステムを構想していました。その要素材料の海水電解用酸素発生陽極や二酸化炭素と水素からメタンを生成するメタネーション触媒の開発に取り組んでいた橋本先生の下で学び、ご退職後にも共に研究を続けることができました。

科学技術を学ぶ意義を示しながら 次世代を切り拓く若者たちを輩出

—— どんな研究に取り組んでいますか。

加藤研究室では、グローバル二酸化炭素リサイクルの実現に欠かせない要素材料の研究をしています。水の電気分解に関する研究に取り組んでおり、特に海水やアルカリ水を利用した水素製造のための電極の創製とその周辺技術の開発に力を入れています。最近では、プロトン交換膜水電解（PEM水電解）に使う新規の酸素発生電極触媒にも取り組んでいます。中でも、海水の電気分解では通常陽極を使うと塩素が発生しますが、私たちの研究室で開発している陽極では酸素のみを生成することができます。電極基板の表面にアノード電着や熱分解で触媒物質を析出させる方法で電極を作製し、その触媒性能を電気化学測定で分析します。

—— 加藤先生にとっての「未来のエスキース」とは。

学生たちが、この研究室で過ごす1年半で得られるものなのでしょうか。環境応用化学課程の学生たちの多くは、卒業後の将来像に具体的なイメージを持っていないことが多いように見受けられます。ですから、この研究室を選んでくれた学生、奇しくも選ばざる得なかった学生には、私の専門分野の指導を受けながら実験を繰り返し、科学技術への興味を高める下地を培ってあげられればと思っています。そして、就職や進学に役立つ知識や考え方を経験の積み重ねによりしっかりと固めた上で、それぞれが望む未来へ向かってほしいと願っています。



研究室の様子（2025年度研究室配属3年生歓迎会）

COLUMN

おしえてください
研究者の「この中」

わたしと

「どこ出身ですか？」

石狩で過ごした子ども時代

東北工業大学も北は北海道、南は沖縄と様々な出身の学生がいます。私は、人から「どこ出身ですか？」と聞かれた時は説明が面倒なので札幌市と答えます。札幌の近隣の恵庭市、石狩市そして江別市と住んでいて札幌市には住んだことがありません。実家があるのは江別市ですが、出身（人格形成や文化的背景に大きな影響を受けた土地）は石狩市です。石狩市には、5歳から13歳までという多感な時期に過ごしました。夏は石狩浜での海水浴やクワガタ取り、冬は学校の裏山でスキーと遊びには事欠きませんでした。昔、日本海側の沿岸、石狩市もそうですが、1950年頃までは春になると大量のニシンが獲れたそうです。ソーラン節は、ニシン漁の際に歌われた「作業唄」です。小学生の頃は、毎年運動会でソーラン節に合わせて盆踊りのように踊っていました。今は、高知県のよさこい祭りの囃子踊りとソーラン節が組み合わさったYOSAKOIソーラン祭りが札幌を発祥に始まり、全国に広がりました。私の子どもたちもテンポのいい曲に合わせて毎年踊っていました。手の動きなどは、昔の踊りの名残があります。皆さんどこの出身ですか。



最前線の研究をレポート!

LABORATORY REPORT

研究室通信 Vol.44

ライフデザイン学部
経営デザイン学科

さる わたり まなぶ
猿渡 学 教授 *Samuwari Manabu*

PROFILE

東北大学文学部で国文学を学び、大学院に進学。1991年3月に修士(文学)の学位を取得。1996年5月から1998年3月まで同大で助手を務めた後、1998年4月から本学工学部人間科学センターの講師に就任、2005年に助教授となる。2008年4月からライフデザイン学部経営コミュニケーション学科の准教授、教授を歴任。2025年4月から現学科名の経営デザイン学科の教授として教鞭を執り、2026年4月から学科長も務める。

担当科目

映像・イメージ学、映像制作実習I・II、身体表現研究、メディアコミュニケーション入門

【研究テーマ】

心を揺さぶるメッセージを伝える 写真や映像の可能性を探究

写真や映像といったメディアを通じて“表現すること”にこだわった研究と実践を行っている猿渡先生。学生には、理論や技術の習得を大切にしながらも、手業にとらわれることなく自己のメッセージを伝えることを重視した指導に当たっています。撮影機器などの目覚ましい進歩で表現の幅がますます広がりを見せている昨今、予定調和の中では生まれることのない、実感や熱が込められた作品こそが今求められているとも述べています。



研究室の様子

雅な古典文学の研究から学んだ 情感豊かな表現世界の魅力

—— 大学における学びの出発点とは。

大学では日本の古典文学を専攻しました。読書が好きで、高校生の時には小説のコンテストに応募したこともあります。大学3年生の時、研究室の所属を決める際、「一番長そうな文学作品がいいな」と考えて選んだのが『源氏物語』です。その志望を聞いた周囲からどよめきが起こってしまいました。修士論文も『源氏物語』で書き、東北大学文学部でも助手を務めるまでになりました。

—— 写真や映画に取り組むようになったきっかけとは。

初めてカメラを手にしたのは高校3年生の時です。この時はまだ趣味程度だったのですが、大学の寮で写真や映画好きの友人や先輩たちと交流して専門知識や興味が深まりました。古典文学の研究者としての進路も考えはしましたが結局、自分の中で発展的なイメージを得ることができませんでした。本学に講師として着任し、教養科目の授業として文化論や映画論を担当した際、学生から映画を作りたいという声を聞いたのが最初のきっかけになったと思います。そして、関連分野の先生たちと交流を持つ中で、宮崎駿氏のアニメーションに関する論文を手掛けたことなどが、現在につながっています。

一つの作品として完成させる達成感と メディアを通じて表現する意義

—— 学生にどのような指導を行っていますか。

この研究室に入ったばかりの学生たちには、写真と映像どちらも一通り経験してもらっています。その上でどちらに適性があるか見極めてもらい、3年生の後期から希望を募っています。写真に組みみたいという学生には毎週、作品一枚一枚に説明を加えて発表してもらい、忸度なくレビューを行っています。技術的な指導に重きを置いておらず、まずは写真の面白さを半年間で知ってもらい、そこを出発点に自ら専門的な技術や知識を高めてもらうように促します。以前、中国出身の留学生在卒業旅行でチベットに飛び、寺院や僧侶の写真を撮ってきたのですが、それが素晴らしい出来でした。現場の空気に触れ、何か感じた瞬間を逃さずシャッターを切ることの大切さを、この学生は体得できたと考えています。

映像に関しては、1本の作品として仕上げる“制作部”を3年生後期に結成してもらい、それぞれシナリオや構成、撮影、音声などを担当してもらいます。部ごとに学生同士の密なコミュニケーションを図りながら、どんなカメラが必要か、どんな撮影手法を採るべきかなど技術面での検討を詰めていき、それぞれの役割を果たしていく連携の重要性を学んでもらいます。特に、撮影を行う施設や場所の許可取り、協力してくれる関係者や地域の方々への交渉といった仕込みの大変さ、そして、その丁寧な前準備こそが作品のまとまりやクオリティーを決めることを知ってもらいたくて、自主的に行動してもらうよう指導しています。

—— 作品を仕上げるために大事な要素とは。

自分ができることを最大限にやり切ったという納得が得られ、自分が伝えたいことはこれだと確信を持って作品に熱を込められなければ、いくらきれいにまとまっても心を打つものにはなりません。特に映像作品に関しては、あきらめず最後まで撮り切り、上映会を行うまでが一連の取り組みとなっています。事前に研究室内でディスクチェックを行う際も感想を言い合ったりしますが、何かしら後悔の念があふれ出ます。しかし、それこそが次につながる糧になり、先輩たちが後輩へ託すことができる学びの財産にもなっています。



思いもよらぬ成果に発見を求め 新鮮な感動にも出会う面白さを

—— 猿渡先生にとっての「未来のエスキース」とは。

写真の観点でエスキースを訳すと“構図”の意味になりますが、自分が作品としてプリントしているものは、いわゆる三分割構図や黄金比といった定番のセオリーに基づいたものを必ずしもベストショットとして捉えていません。構図を決める時はいつも感覚的で、これだとひらめきを得た時しかシャッターを切りません。さらに、具体的にこんなものを撮ってみたいというような願望を常に持ち合わせているわけでもありません。私にとっての未来のエスキースとは、何が飛び出してくるか想像できない結果を、責任を持って受け止めることです。写真は、基本的に何かの痕跡を収めるもので、それがどんな意味を持つかを自分なりに引き受ける仕事です。予定調和を求めず、何ができあがるかわからない恐れを感じながらも、撮影中はどこか客観視して楽しんでいたりします。ロラン・バルトの「残るものは、いつも“意図しなかったもの”」という言葉に通ずる考え方でしょうか。過去の傷や痕跡こそが“生”そのものであり、それが感動的であるほど未来に大きな影響を与え、いつまでも残り続ける理由になると考えています。



廃墟映画館の再生プロジェクト



フィルム現像とプリント

COLUMN

おしえてください
研究者の「こころの中」

わたしと

モーターサイクル／写真

風が、触れる世界



モーターサイクルで走っているときだけ、世界を“見ている”のではなく、世界に触れられている“感覚”になります。ヘルメット越しに差し込む朝の光、季節ごとに変化する空気の匂い、トンネルに入った瞬間の温度の変化：自動車では切り離されてしまいうそれらが、モーターサイクルでは直接身体に届いてきます。モーターサイクルは、身体を外界へ剥き出しにする乗り物なのだと思います。

私は映像や写真表現の研究と実践を行っています。写真と撮るという行為は、世界との距離を測り直す行為なのかもしれません。ただ対象を記録するのではなく、自分が何に立ち止まり、何に揺さぶられたのかを確かめているように感じます。

モーターサイクルで走っていると、風景は単なる背景ではなくなります。風や光や匂いが、自分の身体に触れながら通り過ぎていく。その感覚は、シャッターを切る瞬間の感覚とどこか似ています。写真とモーターサイクルは、どちらも身体を世界に晒す行為なのかもしれません。





ホンネで

教員×学生

Lab Talk!

研究室対談

工学部 環境応用化学課程 電気化学研究室

加藤先生 小野君は、大学3年生の前期で研究室配属を決める前に、3回くらいこの研究室へ見学に来ていましたね。

小野さん 加藤先生の研究に関する情報は大学のWebサイトなどを見ればすぐ分かるのですが、先生がどんな方なのかを探りに行っていました。

加藤先生 学生たちには、厳しくて怖いって印象があるようですね。

出発直前まで議論を戦わせました。

小野さん でも、先生の指摘は的確だし、結果として賞もいただけたので感謝しています。

加藤先生 そうですね。その腐食防食学会でおこなった「PEM水電解用電極におけるCo-Mo酸化物系酸素発生触媒の創製」についての発表が若手講演奨励賞に受賞したのは見事でした。学部生の受賞は滅多にないことです。

研究者を納得させる発表を。

質疑応答にも備え

論文の精度を高めながら

おのゆうき
小野 由騎さん



かとうぜんた
加藤 善大教授



小野さん はい。以前から、自分が開発に携わった製品やサービスで社会のために貢献できる仕事がしたいと考えていました。だから、しっかりと実験に取り組める研究室に入りたいと思い、加藤先生の下で学ぶ決心をしました。

加藤先生 そうでした。小野君には学会に何度か同行してもらっていますが、まだ学会発表まで余裕があるはずなのに、怠りなく準備を済ましておきたいという几帳面さを感じていました。私は、何事も期限が迫って、最後に追い込むタイプです…。

小野さん 学会発表では規定時間がありますし、論文を事前に読み込んでおきたいんです。質問対策も万全にしたかったのですが、直前で大きな直しを入れたりしましたよね。

加藤先生 そうですね。4年生の頃参加した学会では

小野さん 近々、アメリカのシアトルで学会がありますが、そちらの準備は大丈夫ですか。私は研究成果をまとめたポスター発表で、先生は各国から集まった研究者の前で口頭発表ですよね。

加藤先生 発表論文もそうですが、英語で質問を浴びせかけられるはずですから、あらゆる想定をして準備をしておかなくてはなりませんね。

小野さん それは大変そうですね…。私も万全な準備でポスター発表に臨みたいと思います!

加藤先生 この学会で得られる経験は、きっと小野君の将来に役立つと思いますよ。

小野さん 仕事で成功するために必要なのは何ですか。

加藤先生 そうですね、若い時は苦労を惜しまないことでしょうか。そして、周りとの協調性も大切です。

小野さん 肝に銘じます。

研究活動を通して、日々繰り返されている先生と学生の対話。
そんなお互いのリスペクトに満ちたトークに耳を傾けてみませんか。

過去の対談は
こちらから！



ライフデザイン学部 経営デザイン学科 映像イメージ研究室

石川さん 入学前からマスコミ系の仕事や映像制作の分野に興味があって、1年生の時に「img@tohtech(東北工業大学イメージワークショップ)」に参加したのが、猿渡先生との初対面になりました。

猿渡先生 学生が主体となって自由に楽しく映像制作を行っている経営デザイン学科公認の団体ですね。長町キャンパスを拠点にして長編映画なんかも作っています。

しながら撮影の仕込みや手配をちゃんとこなす人材はとも貴重なんです。石川さんも映像の方に進みたいようだから、その先輩のようにパワフルに仕切ってくれることに期待しています。

石川さん 先輩は卒業後も、大手の総合クリエイティブプロダクションでバリバリ活躍しているみたいですね。

猿渡先生 研究室にいた当時は、私を機材運搬のための運転手としてこき使ってくれましたから…。卒業制作



さる わたり まなぶ
猿渡 学教授

いし かわ みり
石川 実莉さん

映像の完成度を高めるため
撮影の現場やスタッフを仕切り
チームを導く才能に期待。

石川さん その時は、ちょっと見た目が怖そうだなと思ったのですが、先生の授業はすごく面白くて、もっとお話を聞いてみたいと思いました。

猿渡先生 ワークショップ、楽しんでもらえたようで何よりです。石川さんは、この研究室のお母さんの存在だと思っているんだけど。

石川さん お母さん!?

猿渡先生 気配りが抜群で、卒業生を送り出すパーティーの仕切りも素晴らしかったです。

石川さん 逆に世話を焼き過ぎていないか心配していたので、ほっとしました。卒業された先輩に、自分の役割をしっかりと果たしながら撮影の現場でも多くの仕事をこなしていた方がいたのですが、私もそのように活躍したいなと思っていたんです。

猿渡先生 映像の制作部では、チームワークを大切に

も、1度失敗を経験しながらも、しっかり立ち直って素晴らしい作品を完成させました。あのガッツは他の学生にも見習ってほしいですね。

石川さん そんな仕事ぶりに憧れちゃいます…。そういえば、先生は音楽フェスにハマっているそうですね。

猿渡先生 本当に心から楽しめる場なんですよ。石川さんは今、何を聴いているの?

石川さん 私はK-POPとかアイドルが好きなんです。

猿渡先生 それは、全く未知の分野かも…坂道グループなら聴いているのですが。

石川さん 何かおすすめのアルバムを持ってきましたか?

猿渡先生 いや、それは大丈夫。

石川さん 先生とK-POPの素晴らしさを共有できなくて残念です…。

地域連携センター【CRC: Center for Regional Collaboration】

地域の課題解決や活力創出に貢献するべく事業を展開しています。

◆ ライフデザイン学部3学科合同企画展示 「触れて、残ったもの一学びと地域のあいだでー」を開催



深瀬さん制作のメインビジュアル

3月28日(土)、アーバンネット仙台中央ビル1階イノベーションスペースで、ライフデザイン学部3学科合同企画展示「触れて、残ったもの一学びと地域のあいだでー」が開催されました。東北工業大学ライフデザイン学部では、「アイデアをカタチにして社会に役立つ価値を生み出す」「人を結び、まちを創る」「社会・組織の課題を解決する糸口を発見する」など、広い意味での「デザイン」能力の育成を目指しています。本展示は、ライフデザイン学部3学科に共通する学びのキーワードである「地域」を軸に実施しました。さらに、共通する学びの場であるPBL(プロジェクト学習)が新年度より始動することを受け、副専攻制度に基づく新たな試みとして、科目横断的な学びが「デザイン」の概念を拡張し、さらなる地域への貢献の可能性につながることを示しました。メインビジュアルは、ライフデザイン学部 産業デザイン学科 4年 深瀬 水月さんが制作しました。

制作者 深瀬さんのコメント

ラフなイラストと手書きの文字で、親しみやすく気軽に足を運べる雰囲気を目指しました。メインビジュアルには3学科それぞれのカラーを取り入れ、合同企画であることを表現しています。また、「地域」を想起させるモチーフや、生き生きとした学生の姿を描くことで、本展のテーマと学びの活気を伝えています。

◆ 令和8年度市民公開講座のご案内 2026年6月12日(金)～2027年1月22日(金)

科学技術の進展や社会の変容に対応し、より良い未来と暮らしへ「和」をつなぐ場を提供していきます。詳細は、本学Webサイトをご覧ください。皆さんのご受講をお待ちしております。※講座はWeb会議システムZoom(ズーム)で受講することができます。事前申込み制で、参加費無料です。

全講座オンライン配信



令和8年度 東北工業大学「市民公開講座」スケジュール(6～8月)

開催予定日	時間帯	課程・学科・センター	職位	講演者	講座題目
6月12日(金)	18:00～19:15	総合教育センター	講師	河内 聡子	玉蟲左太夫『航米日録』に見る幕末武士の異文化体験
6月19日(金)	18:00～19:15	経営デザイン学科	教授	菅澤 紀生	相続が町に与える影響 (歴史的建造物保全、空き家問題等)
6月26日(金)	18:00～19:15	環境応用化学課程	教授	丸尾 容子	光る食品～食品の新しい分析方法:蛍光分析～
7月3日(金)	18:00～19:15	都市工学課程	教授	菊池 輝	なぜ人は判断を誤るのか: 選択を左右する認知バイアスの話
7月10日(金)	18:00～19:15	建築学科	准教授	錦織 真也	子どもと大人のお出かけから考える建築のかたち
7月17日(金)	18:00～19:15	建築学科	准教授	曹 焱	AI(人工知能)を活用した最新の建築技術
7月24日(金)	18:00～19:15	電気電子工学課程	教授	伊藤 仁	聴覚と音声の科学
8月7日(金)	18:00～19:15	産業デザイン学科	講師	坂川 侑希	デザインのチカラで地域を「開墾」する
8月28日(金)	18:00～19:15	情報通信工学課程	教授	河野 公一	衛星リモートセンシングとその応用

…高大連携事業講座 ※講座題目は変更になる場合がございます。ご了承ください。

◆ 令和8年度 オンライン開放型講座「地域未来学」を開講

東日本大震災の経験に基づく災害伝承や防災・減災、環境課題解決や地域共生・共存などサステナブルな社会構築を考える講座を提供していきます。詳細は、地域連携センター Webサイトをご覧ください。皆さんの受講をお待ちしております。



地域未来学Webサイト

<https://www.rc-center.tohtech.ac.jp/department/mirai/lecture/chikimiraigaku/>



研究支援センター【RSC: Research Support Center】

企業及び各種団体との共同研究や受託研究を推進し、科研費等の外部資金研究開発推進等を行っています。

◆令和8年度 学内公募研究

令和元年度より、本学の研究推進と研究のブランド化推進のため、本学教員の提案による研究テーマを公募し、審査委員会にて内容を審査後予算措置し支援しています。

研究タイプは、

萌芽型 科研費等競争的資金研究を目指す研究

実用化型 企業との産学共同研究の準備段階の研究

発展型 現在実施している競争的資金研究をさらに発展させる研究

地域連携型 自治体・地域団体等との地域連携事業の準備段階の研究

となっています。

【令和8年度 学内公募研究 採択テーマ一覧】 採択件数22件(萌芽型:11件、発展型2件、実用化型:5件、地域連携型:4件)

研究テーマ名	研究タイプ	研究代表者
エアロゾルデポジション法で成膜した高温超伝導膜の実用化へ向けた物性評価	萌芽型	電気電子工学課程 教授／新井 敏一
視野狭窄時の視野欠損補償と視覚意図の行動分離推定に基づく視野拡張の基盤研究	萌芽型	電気電子工学課程 教授／水野 文雄
脳スライスの電気活動に基づく化合物の安全性評価法の開発	萌芽型	電気電子工学課程 教授／鈴木 郁郎
ブタ精子の直進運動精子分離デバイスの開発と電気化学的評価	萌芽型	電気電子工学課程 教授／葛西 重信
ドライビングシミュレータによる単調運転時の注意低下状態の再現と運転挙動指標の同定	萌芽型	都市工学課程 教授／菊池 輝
透過性抵抗係数を用いた透過型構造物の流水抵抗評価について	萌芽型	都市工学課程 准教授／菅原 景一
PEM水電解用コバルト酸化物系酸素発生触媒の創製	萌芽型	環境応用化学課程 教授／加藤 善大
人間・都市環境相互作用に基づく都市街路空間の熱ストレス自己評価系の構築	萌芽型	建築学科 教授／渡邊 浩文
地震時の実構造物の変位測定及び変位算定法の評価	萌芽型	建築学科 教授／薛 松濤
データ駆動型力学による木質構造の複合応力下割裂破壊評価法	萌芽型	建築学科 准教授／曹 森
学校防災における教員のウェルビーイングを基盤とした協働型タイムライン研修の開発	萌芽型	総合教育センター 教授／佐々木 克敬
年代差・個人差を考慮した多モダリティ睡眠評価モデルの開発	発展型	電気電子工学課程 教授／辛島 彰洋
ナノ材料を用いた呼気中バイオマーカー探索の研究	発展型	環境応用化学課程 教授／丸尾 容子
アルカリ水溶液を利用して発火リスクを無効化するリチウムイオン二次電池回収装置の開発	実用化型	電気電子工学課程 教授／下位 法弘
柱上高圧気中開閉器の劣化診断手法の研究開発	実用化型	電気電子工学課程 教授／佐藤 智之
触覚・動作センシングによる把持技能の定量評価手法の実証	実用化型	電気電子工学課程 教授／室山 真徳
小型テラヘルツCT計測装置の開発	実用化型	情報通信工学課程 准教授／縄田 耕二
快適性と省エネ性を両立した空気式床冷暖房システムの設計手法に関する研究	実用化型	建築学科 准教授／大石 洋之
木質バイオマスボイラー燃焼残渣の農業利用による資源循環型生産システムの確立と地域展開	地域連携型	環境応用化学課程 准教授／佐野 哲也
沿岸地域の里山整備を通じた学生参加型地域連携ネットワークの研究	地域連携型	建築学科 教授／福屋 粧子
地域連携活動における省察と発信を目的としたドキュメンテーション手法の検討	地域連携型	産業デザイン学科 講師／坂川 侑希
ドキュメンタリー映像の制作を通じた“共創的発見”に関する研究	地域連携型	産業デザイン学科 講師／船山 哲郎

CAREER SUPPORT NEWS

就職活動を力強くバックアップする大学の取り組みについてご紹介します。

◆令和7(2025)年度東北工業大学 学部生就職率99.6%※

※文部科学省における「就職状況調査」で使用する算出方法にて算出

学生一人ひとりに寄り添う手厚いキャリアサポート



八木山キャンパスキャリアサポート課



長町キャンパス事務室

各課程・学科の就職担当教員・研究室指導教員はもちろん、キャンパスごとに配置された専属の職員と外部キャリアアドバイザーが連携。学生一人ひとりの状況を把握しながら相談や悩みに答え、将来の職業選択に繋がる企業見学会などのイベントも1年次から開催しています。また、多くの卒業生がそれぞれの学科で培った専門性を活かして企業や官公庁など、社会のあらゆる業界・業種・職種で活躍しています。卒業生が築き上げてきた長年の信頼と、広い認知が多数の求人呼び、毎年、維持し続ける高い就職率は企業から東北工業大学への信頼の証です。



相談窓口紹介

キャリアサポート課および長町キャンパス事務室では、学生のみなさんがスムーズに就職活動を行えるよう充実の体制で就職活動を支援しています。就職活動での疑問や悩み・不安を抱いたらお気軽にご相談ください。

また、就職環境の急激な変化に対応するため、外部キャリアアドバイザーによる「就職活動なんでも相談」を開設しています。個別の就職相談はもちろん、履歴書やエントリーシート等の書類添削、面接練習等を対面またはオンラインで行っています。利用を希望する場合は、「Toitech Career Navi」から事前予約が必要です。

令和8(2026)年度 就職支援スケジュール

開催月	内容	対象
7月	合同業界研究フェア	全学年
	インターシップ等事前研修会(夏期)	1年・2年・3年・M1
8月	インターンシップ等実施(夏期)	1年・2年・3年・M1
	宮城県内企業見学会	1年・2年・3年・M1
9月	インターンシップ等実施(夏期)	1年・2年・3年・M1
	宮城県内企業見学会	1年・2年・3年・M1
	公務員教養試験対策講座(有料)	1年・2年・3年・M1
	民間就職試験対策講座(有料)	1年・2年・3年・M1
	内定学生との交流会	1年・2年・3年・M1
	後期就職ガイダンス(オリエンテーション、セミナー実施)	3年・M1
	PROGテスト	4年
10月	公務員教養試験対策講座(有料)	1年・2年・3年・M1
	民間就職試験対策講座(有料)	1年・2年・3年・M1
	内定学生との交流会	1年・2年・3年・M1
	模擬面接	3年・M1

開催月	内容	対象
11月	公務員教養試験対策講座(有料)	1年・2年・3年・M1
	内定学生との交流会	1年・2年・3年・M1
	模擬面接	3年・M1
12月	公務員教養試験対策講座(有料)	1年・2年・3年・M1
1月	合同企業研究セミナー事前研修会	3年・M1
2月	インターンシップ等実施(冬期)	1年・2年・3年・M1
	合同企業研究セミナー	3年・M1
3月	就職活動早期準備講座(無料)	1年・2年
通年	就職活動なんでも相談	3年・4年・M1・M2
	インターンシップ(公務員含む)、業界研究会、セミナーイベント周知	1年・2年・3年・M1
	就職支援動画コンテンツ(オンライン配信)	全学年
	学内個別企業説明会	4年・M2
	企業説明会(公務員含む)、採用試験日程、情報会社イベント周知	4年・M2

M1:大学院博士 前期課程(修士) 1年 M2:大学院博士 前期課程(修士) 2年

※日程・内容は変更になる可能性があります。

キャンパス通信

◆令和8年度 入学式を挙行

4月3日(金)に、令和8年度 東北工業大学 入学式を挙行了しました。

今年度は、学部生835名と大学院生52名、教職員、保護者が一堂に会しての式となりました。式では役職者の紹介と小林 正樹 学長の式辞、秋元 俊通 同窓会長の祝辞の後、学部入学生代表として建築学部 建築学科 篠原 小枝さん、大学院入学生 代表として工学研究科 都市工学専攻 安達 涼さんが入学の辞を述べました。



小林 正樹 学長の式辞

入学生の内訳

●学部生

工学部

課程	人数
電気電子工学課程	117名
情報通信工学課程	138名
都市工学課程	78名
環境応用化学課程	46名
計	379名

建築学部

学科	人数
建築学科	174名
計	174名

ライフデザイン学部

学科	人数
産業デザイン学科	92名
生活デザイン学科	99名
経営デザイン学科	91名
計	282名

●大学院生

工学研究科 博士 前期課程(修士)

専攻	人数
電気電子システム工学専攻	5名
情報通信工学専攻	6名
都市工学専攻	6名
バイオ情報・応用化学専攻	7名
計	24名

建築学研究科 博士 前期課程(修士)

専攻	人数
建築学専攻	24名
計	24名

ライフデザイン学研究科 博士 前期課程(修士)

専攻	人数
デザイン工学専攻	4名
計	4名

◆新入生歓迎イベント「Campus Open Day 2026」を開催

4月6日(月)、八木山キャンパスおよび長町キャンパスにて、新入生歓迎イベント「Campus Open Day 2026」を開催しました。本イベントは、新入生同士の自然な交流を促進するとともに、大学生活への不安を和らげ、安心して新たな一歩を踏み出せる環境づくりを目的としています。今年度は「Starting Together (スタートアップセッション)」と連動し、学内外を舞台に多彩な交流企画を展開しました。

中でも注目を集めたのは、新入生限定で実施した「周遊型謎解きトレジャーハンティング」です。参加者はグループで協力しながらキャンパス内を巡り、各所に設けられたクイズやミッションに挑戦。初対面同士でも自然と会話が生まれ、チームワークを育む機会となりました。八木山キャンパスの最終問題では学長室にたどり着く仕掛けも用意されており、普段は入ることのできない特別な空間で、学長の椅子に座るなどの体験や記念撮影を楽しむ様子が見られました。

また、両キャンパスには計13台のキッチンカーが出店し、会場は大きなにぎわいを見せました。学生には500円分のクーポンが配

布され、話題のグルメを味わいながら交流を深める姿が多く見られました。

屋外ステージでは、吹奏楽部、フォークソング部、ロックバンド部、ダンスサークルなどがパフォーマンスを披露し、会場は終始活気に包まれました。音楽やダンスに合わせて手拍子や歓声広がるなど、新入生と在学生在が一体となった盛り上がり生まれ、キャンパス全体が歓迎ムードに彩られました。

本イベントを通じて、新入生が仲間や先輩、大学という環境に親しみを感じるとともに、今後の大学生活への期待を膨らませる一日となりました。今後も本学では、学生同士のつながりを大切にしながら、充実したキャンパスライフの実現に向けた取り組みを継続していきます。



周遊型謎解きトレジャーハンティング(学長室)

◆産業デザイン学科 デザイン経営研究室(指導:下總 良則 准教授)の卒業生が、国際グラフィックデザインアワードGraphisのNew Talent Awards 2026でGold(ブランディング部門)を受賞



卒業制作「オリジナル陶器のブランディング」



制作作品のある風景



陶芸工房での作業風景

高柳さんのコメント

生成AIによって効率的に、誰でも簡単に自身の考えを形にすることができるようになったこの時代の境目で、手を動かし、自らの頭で考え価値を生み出そうと純粹に向き合ったあの日々が、いかに特別な時間であったのかを改めて感じています。受賞にあたり、私を支えてくださった全ての皆様と、一緒に頑張った同級生、先輩、後輩たちに心より感謝いたします。本当にありがとうございます。

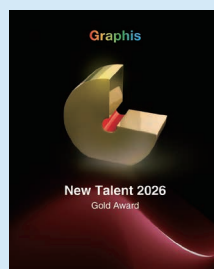


指導教員(下總准教授)のコメント

本制作は、制作過程で実際に販売し、価格設定を含めた検証が行われました。ここで高柳さんはブランドコアの必要性に気づき、自身の制作の活動軸を模索する、深みを伴ったブランドデザインに取り組んでいます。厳選された6種のテーブルウェアと、ブランドのネーミング、シンボルマーク、ロゴタイプ、パッケージ、ウェブサイト、プロシユアなど制作物は群となり、圧倒的な沈思黙考の中でスケッチを描いては作陶して自分らしさを模索したプロセスは、デザイン活動本来の姿でした。

Graphisとは

Graphis(NY, USA)は、現在では80年以上続く歴史を持つ権威ある国際グラフィックデザインアワードのひとつです。その New Talent Awards では、Advertising、Design、Photography、Film/Video の4部門があり、Graphisの発表では2026年度は特に競争が激しく、全世界113校からのエントリーがあったと報じられています。今回の受賞は、この権威ある国際デザインアワードにおいて、1,179点のエントリーがあった新人賞で金賞を受賞するという快挙となりました。



Graphis
New Talent
Award 2026



受賞作品詳細

◆令和7年度 東北工業大学成績優秀者が決定

令和7年度の学業成績優秀者に送られる「東北工業大学成績優秀者賞」が決定いたしました。
表彰は各課程／学科・専攻毎にオリエンテーション期間に行われました。下記より、成績優秀者一覧をご覧くださいませ。
●学部生 成績優秀者賞(242名)

工学部			建築学部			ライフデザイン学部									
電気電子工学課程 電気電子工学科		情報通信工学課程 情報通信工学科		都市工学課程 都市マネジメント学科		建築学科		産業 デザイン学科		生活 デザイン学科		経営 デザイン学科			
4年	近江 穂乃花	4年	渋谷 美月	4年	飯田 翔太	4年	武内 紀乃	3年	大越 夢宙	4年	深瀬 水月	4年	大内 凜	4年	千葉 善大
	菅原 空耶		高橋 康丞		阿部 竜乃輔		伏見 総太		今泉 佳奈		菅野 智也		菊地 晴香		水戸 蒼士
	平間 拓未		江川 くるみ		笹川 勇翔		高梨 晃成		原 若奈		新関 隼		大里 貴太		渡邊 青瑚
	浅沼 優弥		佐藤 柚香		佐々木 颯		高橋 陽向		渡邊 響介		加茂 幸人		石川 凜		松岡 崇仁
	佐藤 功宜		二ツ森 理久		大原 陽介		金田 諒		松村 佳奏		下山 和真		滝田 彩華		高橋 愛花
	加藤 藍		左右田 光彩		日吉 成生		佐藤 菜太		畠山 冬也		佐藤 しえり		松本 真希		畠山 世那
	千葉 世蓮		大場 大悟		浅野 晴輝		菅野 優祐		橋内 杏果		佐々木 美緒		川崎 小雪		高橋 正伍
	齋藤 航		鷲谷 日祐生		佐藤 優思		池田 颯人		渡邊 葵		渡邊 桃衣		菅原 想乃		鈴木 利旺
	真山 光		渡邊 惣登		宮川 辰之輔		齋藤 音花		小國 叶統		松崎 智哉		進藤 希海		中嶋 美咲
	古川 空		木村 優里		佐藤 駿成		大場 裕陽		五十嵐 心真		渡辺 莉世來		阿部 里咲		中嶋 悠人
	鎌倉 七海		宮田 悠佑		小山 颯太		樋口 蒼空		渡邊 海童		森 こはる		山口 莉那		相澤 快飛
	番沢 周平		吉田 雅哉		藤田 寛咲		武石 龍樹		伊藤 隆輝		庄司 彩羽		柿崎 滯		小澤 華織
3年	藤田 侑吾	坊良 一輝	三浦 琉生	軽部 心結	小山 誠人	伊藤 鈴夏	宮島 成映	菅野 怜音	3年	中野 嶺	3年	大野 耀聖	3年	目黒 壮真	
	白石 久道	三浦 なお	野呂 煌都	田中 稜輔	菅原 七星	日塔 翔月	佐藤 花帆	中野 嶺		大野 耀聖		目黒 壮真			
	佐藤 颯太	大風 空	小向 大翔	新井 勇貴	黒須 想太	秋場 里桜	高橋 美月	高橋 美月		目黒 壮真		目黒 壮真			
	我妻 寿哉	三條 俊	宮城 柊斗	大内 奈美	高橋 慧	石澤 美咲	折茂 幸	折茂 幸		目黒 壮真		目黒 壮真			
	千葉 稜介	高橋 美絵子	水原 伸誠	宇部 葵	照内 寧香	遠藤 永望久	及川 カレン	及川 カレン		目黒 壮真		目黒 壮真			
	熊野 諒大	高橋 乃愛	菅野 翔太郎	長谷川 ひより	菅野 葵	赤井 希颯	藤田 万央	藤田 万央		目黒 壮真		目黒 壮真			
	金尾 優志	高清水 優斗	安倍 真音	佐々木 拓馬	氏家 颯太	岡本 邑月	山崎 絢菜	山崎 絢菜		目黒 壮真		目黒 壮真			
	谷藤 正章	高橋 歩花	五十嵐 啓太	菅野 彩希	小川 理琴	早坂 潤	工藤 郁実	工藤 郁実		目黒 壮真		目黒 壮真			
	佐々木 冬斗	小山 巧	環境応用化学課程 環境応用化学科	金井 幸来乃	小林 真緒	昆野 桃々	熊谷 颯太	熊谷 颯太		目黒 壮真		目黒 壮真			
	舞原 和希	寺島 涼	4年	武田 峻	渡辺 瑛璃奈	田中 友萌	吉田 ひめ	吉田 ひめ		目黒 壮真		目黒 壮真			
	氏家 求朗	齋藤 優斗		久能 愛斗	西村 陽一郎	小田桐 柚葉	神久保 来未	神久保 来未		目黒 壮真		目黒 壮真			
	相澤 祐希	遠藤 楽久		山崎 勇飛	山崎 勇飛	小林 舞彩	左右田 亜可音	左右田 亜可音		目黒 壮真		目黒 壮真			
福山 世蓮	千葉 大智	佐藤 瑞華		佐藤 瑞華	澁谷 朋希	高橋 来夢琉	高橋 来夢琉	目黒 壮真	目黒 壮真						
2年	千田 竣介	阿部 優斗		三浦 友樹	櫻井 望	今野 祐奈	山田 彩加	丹波 桐子	丹波 桐子	目黒 壮真	目黒 壮真				
	篠原 良弥	福田 陸		櫻井 望	奥山 遥斗	山田 彩加	山田 彩加	小野寺 一華	小野寺 一華	目黒 壮真	目黒 壮真				
	佐竹 輝成	佐竹 巧徳		奥山 遥斗	清水 柚希	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真				
	原田 卓実	工藤 魁人		奥山 遥斗	田口 輝	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真				
	山本 瑛翔	武田 莉々果		奥山 遥斗	田口 輝	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真				
	先崎 大耀	浅野 真凜		奥山 遥斗	皆川 隆	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真				
	山口 大河	松岡 陸		奥山 遥斗	菊地 遥友	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真				
	菊池 春輝	今野 真翔		奥山 遥斗	上野 陽	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真				
	山内 煌羅	松田 健志	奥山 遥斗	菅井 玲那	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真					
	滝沢 海翔	佐藤 諒和	奥山 遥斗	伊藤 恵里奈	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真					
	2年	大友 凪	奥山 遥斗	小澤 唯斗	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真					
	2年	小野寺 芳文	奥山 遥斗	小澤 唯斗	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真					
2年	本間 椋大	奥山 遥斗	小澤 唯斗	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真						
2年	大越 雅斗	奥山 遥斗	小澤 唯斗	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真						
2年	高野 幸生	奥山 遥斗	小澤 唯斗	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真						
2年	小林 優仁	奥山 遥斗	小澤 唯斗	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真						
2年	古川 聖泰	奥山 遥斗	小澤 唯斗	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真						
2年	永野 蒼空	奥山 遥斗	小澤 唯斗	山田 彩加	山田 彩加	齋藤 伶俐	齋藤 伶俐	目黒 壮真	目黒 壮真						

●大学院 成績優秀者賞(53名)

工学研究科			建築学専攻		
電子工学専攻	土木工学専攻	環境応用化学専攻	建築学専攻		
博士(前期) 2年	博士(前期) 2年	博士(前期) 2年	博士(前期) 2年	博士(前期) 2年	
阿保 政俊	児玉 睦希	板橋 はな	鶴川 優大	藤田 大輝	
長田 真優	澁谷 遥希	上田 尚史	太田 誠人	古山 蓮大	
菊池 柊李	鈴木 りな	小野 由騎	大沼 奏多	水口 怜	
宮田 唯統	福田 壮佑	加藤 憲治	尾柏 南斗	八島 深哉	
		菊地 真理恵	小野 春澄	袁 哲	
		佐々木 千夏	加藤 健太郎		
		高橋 晴樹	岸 拓未		
		但馬 康介	櫻庭 瑠七		

通信工学専攻			ライフデザイン学 研究科		
博士(前期) 1年	博士(前期) 2年	デザイン工学専攻			
博士(前期) 2年	博士(前期) 2年	博士(前期) 2年			
阿部 琉輝亜	白石 光汰	井山 翔平			
岩井 涉	武田 風雅	佐田 紘琢			
柿平 智哉	畠山 陸	柴田 沙和			
今野 翼	林崎 裕太	水戸 華凜			
佐藤 詩音	舟山 文隆	吉田 結			
	松本 太智				

◆2025年度 ブランディングDAYを開催

3月13日(金)、八木山キャンパス 1号館 131・132教室で「2025年度 ブランディングDAY」を開催しました。

本学では、年に一度、教職員全員で自学のブランドを考える日としてブランディングDAYを開催しています。

発表後には「ブランディング交流会」を行い、教職員と学生が軽食を取りながら自由に交流しました。



ブランディング取り組み事例の紹介



ブランディング交流会

【発表テーマ】

発表者	発表テーマ
工学部 都市マネジメント学科 4年 加藤 颯さん 工学研究科 土木工学専攻 博士前期課程(修士) 1年 児玉 睦希さん	三次元防災教育コンテンツの社会実装に向けた取り組み
建築学部 建築学科 4年 庄子 諒さん	中原大学への交換留学、東北工業大学での学び
建築学研究科 建築学専攻 博士後期課程(博士) 1年 段 志杰さん	留学で育った挑戦と成長
ライフデザイン学部 生活デザイン学科 4年 藤井 瑠杏さん	地域と向き合うZINE制作から学んだこと
工学部 環境応用化学学科 4年 木村 香織さん ライフデザイン学部 産業デザイン学科 4年 河尻 佳光さん	教職課程を通して創る未来
〈起業学生ラボ〉 建築学研究科 建築学専攻 博士後期課程(博士) 1年 三品 亮祐さん	大学の知を社会の価値へ：起業学生ラボ2年目の挑戦
〈外部講演〉 北海道科学大学 政策室	ブランドは進化する—北海道科学大学のブランド戦略—

◆【仙台市太白消防署×東北工業大学】 産業デザイン学科の学生がデザインした林野火災防止看板を設置

3月23日(月)、大年寺山公園の遊歩道入口にて、ライフデザイン学部 産業デザイン学科の学生がデザインした林野火災防止看板の設置が行われました。この取り組みは、令和7年度に仙台市太白消防署より「学生と連携した防火・防災意識啓発事業」として本学が委託を受け、実施したものです。昨今、大船渡市をはじめ全国各地で林野火災が頻発し甚大な被害が発生している状況を受け、市民の皆さまへ火災予防を広く呼びかけるため、太白消防署より本学へ啓発看板制作の依頼があり、今回の企画が実現しました。

看板のデザインを担当したのは、ライフデザイン学部 産業デザイン

学科 タイプフェイスデザイン研究室(指導教員:阿部 寛史 講師)3年の菅野 姫衣さんと佐藤 しえりさんです。大学生ならではの視点を取り入れたデザインを採用することで、より幅広い世代の方々へ防火・防災意識を広めることを目的としています。

なお、今回制作された看板は、大年寺山公園のほか、今後、太白区内の各山々にも順次設置される予定です。



設置された看板

◆東北工業大学 新体制(学長・副学長・学部長)を発足

東北工業大学では、2026年度(令和8年度)の新年度を迎え、さらなる教育の質の向上、研究の活性化、および社会連携の強化を目指し、下記の通り新たな役職者体制を発足しました。新体制のもと、教職員一同、教育の質保証とその向上、本学のブランド価値向上と地域社会への貢献に邁進していきます。



小林 正樹 学長



石井 敏 副学長



佐藤 篤 副学長

令和8年度の大学運営体制

学長	小林 正樹
副学長	石井 敏(戦略・連携担当) 佐藤 篤(教学・研究担当)
工学部長	河井 正(工学部 都市工学課程)
建築学部長	船木 尚己(建築学部 建築学科)
ライフデザイン学部長	堀江 政広 (ライフデザイン学部 産業デザイン学科)
総合教育センター長	高橋 秀太郎(総合教育センター)

(任期は学長のみ3年。その他は2年。)

◆建築学科 鍵屋 浩司 教授が石膏ボード工業会から特別功労賞を受賞

5月12日(火)、一般社団法人 石膏ボード工業会 第50回定時総会において、建築学部 建築学科 鍵屋 浩司 教授が石膏ボード工業会 石膏ボード賞(特別功労賞)を受賞しました。

鍵屋教授は、建築防火の幅広い分野で、長年にわたって調査実験研究に取り組み、数多くの成果をあげました。例えば、木造建築物の防耐火性能に関する評価・技術開発や、火災安全設計に関する数多くの実験的研究に携わり、社会的ニーズに対応した防火基準の整備に貢献しました。さらに国際的にはISO / TC92 / SC4(火災安全工学)などを通じて火災安全設計に関わる世界的なネットワークを形成するとともに、性能評価機関において大規模建築物の建築防災計画の性能評価員として幅広い研究経験に裏付けられた見識を示し、火災安全設計の発展と実現に多大な貢献をしたことが高く評価されました。



石膏ボード工業会会長(吉野石膏代表取締役社長)による特別功労賞の贈呈



表彰式の様子

◆建築学科 石井 敏 教授(副学長)が国内建築界の最高峰「2026年 日本建築学会賞(論文)」を受賞

建築学部 建築学科 石井 敏 教授が、「環境行動学的視点に立脚した認知症および要介護高齢者施設の建築計画に関する一連の研究」で2026年日本建築学会賞(論文)*を受賞し、5月29日(金)に建築会館(東京)にて贈呈式が行われました。

本研究は、認知症や要介護高齢者施設において、空間や物理的環境が生活とケアの質向上に果たす役割を環境行動学的視点から実証し、介護施設の建築計画的知見を提示。また、「ケア環境の建築計画学」を確立し、超高齢社会の福祉及びケア環境構築に貢献した約30年にわたる一連の研究業績が評価されたものです。

※日本建築学会賞

一般社団法人 日本建築学会は、約3万5千人の会員を擁する、日本で最も歴史と権威ある建築学の学術団体です。同学会が年に一度授与する「日本建築学会賞」は、国内の建築界において最高峰の賞として位置づけられています。そのうち(論文)部門は、日本建築学会賞が設立された1949年当初からの部門であり、近年中に完成し発表された論文であって、学術の発展に寄与する「きわめて顕著な業績」を挙げた個人にのみ授与されます。



贈呈式の様子

◆新任教職員紹介(2026年4月1日付)



ライフデザイン学部
産業デザイン学科

みやもと かずゆき

宮本 一行 准教授

教育・研究活動で培った知識や経験から、地域と接続するサウンドデザイン教育に取り組むと考えています。



ライフデザイン学部
生活デザイン学科

かつ くによし

勝 邦義 教授

まちに出て人と関わり、試し失敗し、また考える往復の中で、自分の学びや答えを見つける力を育てたいと思います。



ライフデザイン学部
経営デザイン学科

すが さわ のり お

菅澤 紀生 教授

実社会において経営と法律は密接不可分です。実務家として、社会で使える技術としての法律の教育を目指します。



大学事務局
教務学生課

ふく だ れ お

福田 怜央 事務職員

快適な学生生活の一助となるべく、ひたむきさを忘れず日々精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。



大学事務局
学修支援センター事務局

あん ざい よし かず

安斎 善和 学修支援職員
(学修支援教授)

青春を謳歌する学生の皆さんと、キャンパスライフを共にできることがとても楽しみです。

OPEN CAMPUS 2026

第1回

6/27 土

八木山キャンパス
長町キャンパス

第2回

7/25 土 26 日

八木山キャンパス
長町キャンパス

第3回

8/22 土

八木山キャンパス
長町キャンパス

秋のオープン
キャンパス

10/10 土 11 日

八木山キャンパス
(大学祭同時開催)

春のオープン
キャンパス

2027/3/30 火

八木山キャンパス
長町キャンパス

Schedule

2026年度7~10月の主な行事予定

7月

- オープンキャンパス
25日(土)・26日(日)
- 前期定期試験
29日(水)~31日(金)

9月

- 後期
オリエンテーション
25日(金)
- 後期授業
24日(木)~
2027年1月22日(金)

8月

- 夏季休業
4日(火)~
9月24日(木)
- 北海道科学大学
総合定期戦
19日(水)・20日(木)
- 前期成績発表・
追再試験時間割発表
21日(金)

10月

- スポーツ大会
9日(金)
- 工大祭
(同時開催:
秋のオープンキャンパス)
10日(土)・11日(日)

- オープンキャンパス
22日(土)
- 前期追再試験
26日(水)~9月1日(火)

数字で見る工大 就職編

学部生

99%

東北を中心に全国のさまざまな業界・業種で多くの卒業生が活躍。毎年、高い就職率を誇ります。近年は就職のみならず大学院に進学する学生も増えています。

Information

公式
Instagram
更新中!



フォロー
お願いします!

表紙の声



工学研究科 環境応用化学専攻※
博士前期課程(修士)2年
小野 由騎さん ※現バイオ情報・応用化学専攻
磁性材料を使った電子部品の開発と製造を行っている企業への就職が決まっている小野さん。本学で学んだ専門知識とこれまで熱心に取り組んできた研究の経験を活かしながら、より良い社会の実現に寄与する仕事をしたいと、今から意欲を高めています。

東北工業大学 ブランドスローガン

未来の
エスキースを
描く。

このブランドスローガンは、本学の建学の精神に基づく基本理念を端的に表現するとともに、本学が歩むべき未来への強い意思を表すものとして2022年に制定しました。

本誌「LABORATORY REPORT」では、本学教員それぞれが描く「未来のエスキース」についても語ってもらい、その信念や展望に迫ります。

工大広報 No.322 2026年7月1日発行(年4回発行)

発行:東北工業大学

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35番1号

TEL:022-305-3144(入試広報課)



バックナンバーは
本学Webサイトより
ご覧いただけます。



公式X
@tohoku_koudai



公式Instagram
@tohtech_official

<https://www.tohtech.ac.jp/outline/kodaikoho/>



東北工業大学ブランドサイト
<https://www.tohtech.ac.jp/brand/>